

なごや地球ひろば企画展・パネル展開催

企画展・パネル展「まちづくりってナニ？展」

国際協力機構 中部センター(JICA 中部)が運営するなごや地球ひろばにおいて、企画展・パネル展「まちづくりってナニ？展」を開催いたします。

2019年7月には愛知県、名古屋市、豊橋市が「SDGs 未来都市」に選定され、中部地域の自治体においても SDGs を意識したまちづくりに注目が集まっています。本展示では、SDGs ゴール 11「住み続けられるまちづくりを」に焦点を当てた展示を展開いたします。



■ 1階 企画展「住み続けられるまち」(SDGs ゴール 11)ってどんなまち？

急速な都市化や幾多の災害を乗り越えてきた日本。JICA は、日本の経験や知見を活用し、開発途上国において開発協力事業を展開しています。本企画展では、開発途上国において実施する「まちづくり」に関する取り組みを紹介します。



例えば、ごみ収集率が 65%だったスーダンの首都ハルツームでは、日本式の「定時定点回収」を導入。住民たちの意識改革には、キャプテン翼のステッカーが貼られたごみ収集車が一役買っています。インドにおいて経済成長が進むにつれて深刻になっている大気汚染や渋滞。日本が支援を続けてきたデリーでのメトロ整備事業は、CO₂排出量の削減と大気汚染の問題の解決に貢献しています。また、日本で始まった「BOSAI」や「KOBAN」の取り組みが世界に広まりつつあります。

SDGs 達成に向けての世界の課題を知り、私たち一人ひとりが課題解決のために行動を起こす必要性を来館者に伝える展示です。

【展示内容】

- ・笑顔を運ぶキャプテン翼のごみ収集車（スーダン）
- ・信頼される KOBAN を世界へ（ブラジル）

- ・市民の生活だけでなく意識も変えた地下鉄（インド）
- ・清潔な水と衛生的な環境を（メキシコ） 協力:名古屋市上下水道局
- ・「行きたいところへ行ける」をかなえたい（モンゴル） 協力:社会福祉法人 AJU 自立の家
- ・復興経験からお互いに学びあう（インドネシア） 協力:一般社団法人東松島みらいとし機構

■ 2階 パネル展 世界のまちと暮らし

旅行で行ったことのある街、これから行ってみたい街、2階では世界中の街の写真をパネル展示いたします。

また、アフリカ 13 か国の子ども達が「こんな街に住みたい！」という思いを込めて描いた「環境絵日記」も展示しております



【パネル展示内容例】

- ・世界のまちと暮らし
- ・「環境絵日記展」～アフリカの子どもたちが描く未来のまち～
- ・「環境絵日記」制作風景
- ・日本と開発途上国をむすぶ架け橋として～外国の貨幣、切手になった ODA～

是非この機会にご来館いただき、ご取材・情報掲載のほどお願いいたします。

なごや地球ひろばは、体験型で学べる展示スペース（体験ゾーン）、世界各国から仕入れたフェアトレードの食品や雑貨を購入できるフェアトレードショップ（買物ゾーン）、主に開発途上国の味が楽しめるグローバルなカフェレストラン（食のゾーン）、参加型イベントやセミナーなどを随時開催している活動ゾーンなどを備え、様々な体験を通して国際協力やSDGsについて楽しく学べる施設です。

【展示概要】

展示期間：2019年11月14日（木）～2020年3月8日（日）

開館時間：10:00-18:00 入場：無料

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌平日が休館日）、年末年始（12/29-1/3）

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部連携推進課 青木・後藤

TEL：052-533-0220（代表）

e-mail：cbictpd@jica.go.jp